

# 平成20年度第8回庁議 会議録

[日 時] 平成20年10月30日(木) 午前9時30分～午前9時56分

[場 所] 本庁応接会議室

[出席者] 市長、副市長、収入役、教育長及び各部局長

[会次第]

1 市長あいさつ

2 議 題

(1) 新市建設計画の別子山地区事業の進捗状況について (関係部局)

1 市長あいさつ

おはようございます。

予算編成の時期になり、どの部局も知恵を出し、創意工夫をした予算編成をさせていただいていることと思います。先の庁議で説明がありましたように、平成21年度当初予算においては、財政調整基金、減債基金における調整を行わない場合には、約21億円の財源不足が見込まれております。

皆さんには、この財政状況を認識して、取り組んでいただきたいと思います。

2 議 事

(1) 新市建設計画の別子山地区事業の進捗状況について (関係部局)

市長 では、議事に入る。

新市建設計画の別子山地区事業の進捗状況について。新市建設計画については、本年度から後期計画がスタートした。本日は、特に、別子山地区での事業に限定して、現在の進捗状況等を説明していただきたいと思いますと考えている。全ての事業となると時間もかかることから、今、パソコンの画面に出ている6事業に絞って説明をお願いします。

では、総務部から順番に説明をお願いします。

<別添資料、新市建設計画(別子山地区)進捗状況整理表に沿って説明。>

<総務部長>

総務部からは、防災行政無線整備事業の進捗状況等について説明する。

本事業は、別子山地区の固定系防災行政無線が整備から20年が経過し、老朽化していること、旧新居浜地区においても固定系の防災行政無線を整備する必要があることから、別子山地区の設備の更新に合わせて、親局を旧新居浜地区側に置くこと、デジタル方式60メガヘルツとすること、J-アラートとの連結をすることとし、全市を一つのシステムで整備する計画である。

別子山地区については、別子山地区での親局設備、中継局設備のほか、現在の機能である屋外拡声子局7局、戸別受信機130機をそれぞれ更新整備することとしている。

旧新居浜地区については、公民館等の避難所を中心とした屋外拡声子局23局の整備を計画しているが、今後、電波の伝搬調査や市内全体への情報伝達の方法などの検討をさらに進めていく。

事業実施の時期については、平成21年度に実施設計、平成22年度に親局設備並びに別子山地区設備の設置工事を行い、平成23年度に旧新居浜地区の設備設置工事を予定している。

なお、事業費については、現在のところ平成25年度までの全体で、3億8,564万8千円を見込んでいるが、実施設計の内容や旧新居浜地区の整備計画によっては、変更となることもある。  
＜経済部長＞

4件あるが、まず、地球温暖化防止森林環境保全整備事業について報告する。この事業は、別子山地域の私有林約5,200haのうち500haについて、除間伐を実施するものである。そして、もう一つは市内の小中学生を対象に森林作業の体験学習を行うものである。事業期間はいずれも5か年で、総事業費は5,975万円、そのうち新居浜市の持ち出しが1,800万円程度である。現状としては、今年度は約150haの調整ができており順調に進んでいる。今後の課題としては、除間伐の場所の選定と所有者との確認作業をし、確実に実施していくことであろうと考えている。

次に、別子山飲料水供給施設整備事業について。別子山地域には、現在、33給水区があるが、それを8給水区程度に整理統合し、別子山住民に安全、安心な飲料水を供給しようとするものである。平成21年度に基本構想を策定、22年度に詳細設計、23年度に工事着工、25年度で完成したいと考えている。

次に、筏津山荘改築事業について。本事業は懸案事項であり、現在の筏津山荘が老朽化したということで改築計画をたてている。先日も、別子山地域審議会で協議を重ねたが、今だに基本的な方向性が定まっていない。平成21年度以降に建築に入れるように努力をしていきたいと考えている。

次に、別子はな街道トイレ整備事業について。新市建設計画で3箇所のトイレを設置予定で、現在まで2箇所、日浦と遠登志でのトイレ整備が実施されている。平成21年度には残り1箇所を設置するということとしているが、ゆらぎの森の周辺ということで別子山地域審議会ではある一定の御了承を得ている。

＜消防長＞

消防団詰所の整備について報告する。別子山分団については過疎化や高齢化に伴い、消防団員の確保が大変困難な状況であることに加え、詰所等が弟地、瀬場、肉渕、成の4箇所に分散されているため、施設、車両等の維持管理も困難な状況となっている。そのため、組織を再編し、施設を統合するため、新しい消防団詰所を建設するのが全体の計画で、整備年度は平成23年度を予定している。現在の進捗状況としては、別子山分団から建設要望地について意見聴取を行い、詰所建設予定地の選定を協議中である。それに伴う課題は、建設予定地が決定した場合には土地の形状、あるいは所有者、土地価格等により、最終的な予算額を決定し、10か年実施計画を変更する必要が生じてくる。また、現在4か所ある詰所兼車庫を統合し、最終的には、詰所建設に合わせて、どういった形にするのかを、別子山分団あるいは支所を含めて検討していかなければならない。なお、建

物構造としては、鉄骨造2階建て、1階部分は車庫、2階は給湯室及び和室をイメージしている。今後の見通しについては、平成21年度に建設予定地を選定し、22年度に10か年実施計画を見直し、そして23年度事業実施の予定である。

市長 総務部の防災行政無線整備事業についてであるが、親局を旧市に設置するということは、そこから別子山に流せるようになるのか。

総務部長 旧市に親局を置き、別子山にも親局を置くこととしている。別子山の親局は別子山地域だけを制御し、その親局の上に親局を置くということで、旧市の親局からも制御ができ、流すこともできるようにする予定である。

市長 旧市に屋外拡声子局を23局設置するとしているが、それで旧市内全域カバーできるということか。

総務部長 旧市内全域をカバーすることはできないと思う。どこでも聞こえるようにするには23局では足りないし、そのためには、電波の伝搬調査、あるいは音がどういう形で到達するかという音達調査を実施しなければならない。現在の計画では、公民館17館、ふれあいプラザ、上部高齢者福祉センター、ウィメンズプラザ、そして本庁、上部支所、川東支所に、それぞれ受信器及び拡声器を設置する予定としている。なお、旧市内については、企画財政会議等で検討していくということで進めていきたいと考えている。

市長 別子山では、毎日放送をしているのか。

総務部長 必要に応じて親局から放送していると聞いている。なお、別子山では130機の戸別受信機を設置するので、その機能はそのまま継続できる。

市長 経済部。地球温暖化防止森林環境保全整備事業についてであるが、市費分ということであるが、市費分以外は民間が負担するのか。

経済部長 市費分以外は、国と県からの補助金である。本来であれば、国、県からの補助を除いた分が個人負担となるが、それを市が全額負担することとしている。年370万円程度の一般財源の負担となる。

市長 具体的な整備内容はどのようなものなのか。

経済部長 除伐と抜き取りである。不要な別の木が生えてくるので、その木は抜く。また、同じ木、例えば杉、ヒノキが同時に生えると、大きくなると密集してくるので、成長を妨げないように適当な間隔で木を切っていくということである。

市長 切った木は、どうするのか。

経済部長 売れる分は、売る。

市長 誰が売するのか。

経済部長 森林組合が売ることとなる

市長 事業主体は森林組合か。

経済部長 いしづち森林組合が事業主体であるが、再委託をする。

市長 それは、別子山の人が請けられるのか。

経済部長 請負先は何班も編成するのだが、今のところは、そのうち1班に別子山関係の住民の方が組織した愛媛林業株式会社というのがあり、その組合が作業班として入っている。

市長 はな街道トイレ整備事業についてであるが、設置場所はゆらぎの森周辺ということだが、屋外に作るのか。

経済部長 ゆらぎの森には、現在、作楽工房に1箇所、本館に1箇所ある。ゆらぎの森でイベントを行うと、その2箇所を使うしかない。また、休業日の日はトイレが使用できないので、ゆらぎの森の園内、入口の付近に整備したいと考えている。屋外に作るので、いつでも自由に使うことができる。

市長 何か質問等あるか。

新市建設計画は、別子山地区と一体となった真の新居浜市を築いていこうとするものである。今説明を受けた部局以外にも関連事業を持つ部局もあるので、適正な進行管理をお願いしたい

本日の議案は以上であるが、連絡事項に移る。

### 3 連絡事項

市長 各部局、何か連絡事項はあるか。

ないようなので、これで第8回庁議を終わる。